

令和5年度 枚方市バリアフリー推進協議会 議事録

日時 : 令和6年1月25日(木) 10時00分～12時00分

場所 : 枚方市役所別館4階 第3・4委員会室

(アド) : アドバイザー (学識経験者)

(構成員) : 当事者、管理者、事業者

(事) : 事務局 (枚方市)

1. 開会

(事)

開会挨拶

(アド)

枚方市においては、市駅周辺の再開発や駅構内、ホームなどで整備が進められており、こうした変化が生じる中で、皆様のご意見や最新の動向を伺いながらユニバーサルデザイン化を進めていくことが本会議の趣旨かと理解している。ぜひ忌憚のないご意見を頂き、枚方市のユニバーサルデザインの実現を進めていく一歩となるようご協力をお願いする。

2. 各事業者のバリアフリー化の取り組みについて

(事)

1. 枚方市駅南口タクシー乗場の整備・踏切内の安全対策について

(事・構成員)

2. 道路のバリアフリー化について

(構成員)

3. 枚方市駅の整備・踏切内の安全対策について

(事)

4. 枚方市駅北口駅前広場の取り組みについて

(構成員)

枚方市駅や樟葉駅の改札前エレベーターのかごの大きさを拡大して頂きたい。車椅子ユーザーやベビーカー、キャリーケースを持った方などが多く利用しており、待ち時間も発生している。東京オリンピック・パラリンピックのアクセシビリティガイドラインでは標準定員17名、推奨される整備環境で24名であり、枚方市駅や樟葉駅では最小の11名であるため、機会があれば拡大して頂きたい。

無人駅で電車に乗車する際、スロープの設置を電話で連絡する仕組みになっており、負担に感じることもある。障害者差別解消法の改正により事業者の合理的配慮が義務化されたこともあり、できるだけ駅員を配置して頂きたい。

(構成員)

対面式のエレベーター更新工事をされているが、工事中は使用できなくなり昇降式スロープを

設置されていたと思うが、できれば中央コンコースにもエレベーターを設置して、複数経路を確保できるようお願いしたい。

駅構内案内図のエレベーターやトイレの配置が分かりにくいので、もう少し分かりやすい表示にして頂ければ円滑に移動し易くなる。

足元乗車位置や乗車列の位置案内が小さく、配色も分かりにくいので表示の工夫をして頂きたい。枚方市駅は乗降者数も多いので、エスカレーターも上り下りの両方が必要であると思う。それによりエレベーターの利用者も減ると思うので工夫をお願いしたい。

(構成員)

エレベーターのかごの大きさや複数経路の確保はこれまでもご要望頂いており、社内でも共有しているが、大規模な工事になることから実行に至っていないのが現状であるので本日頂いたご意見も今後の課題として再度認識させて頂く。駅員不在についても、コロナによる配置見直しから今後どうするか決まっていなところもあるため、貴重なご意見として承る。案内表示については、担当者も随時見やすくするよう検討を進めている。

(構成員)

市駅北口のロータリー改修では、身障者乗降場が中央口の直近に設置されるが、エレベーターは東口にあるため、実際の利用者の移動経路をイメージしながら誘導配置するようお願いしたい。降り場から市役所や文化会館などへの経路案内や経路上の照明を明るくするなど高齢者等への配慮も頂きたい。

(事)

ご意見の通り、東口にのみエレベーターがあるため、身障者バスからエレベーターまでわかりやすい誘導を検討する。誘導案内については北口駅前広場全体の案内表示とあわせて検討していく。また、駅周辺全体への案内については、他部署にも関係することから、庁内で共有し、頂いたご意見を参考にしながらまちづくりを進めていく。

(構成員)

踏切内への誘導表示について、設置される位置や構造、ガイドラインで示された内容はどのようなものか。

(事)

ガイドラインでは、踏切手前部の点字ブロックとの間を空けて直線的に設置することとされており、標準的な仕様として表面に凹凸のある誘導表示とその両側に線状ブロックを設置することとされており、歩道幅員が狭い場合は、線状ブロックのみを設置することとなっている。御殿山踏切では左右で歩道幅員が異なるため、標準的な仕様と歩道幅員が狭い場合の仕様のそれぞれを設置し、星ヶ丘2号踏切は歩道幅員が十分にあるため標準的な仕様とし、牧野踏切は歩道幅員が狭いため、幅員が狭い場合の仕様での設置を考えているが、施工にあたっては、視覚障がい者団体さまと現地立会等を行い、ご意見を伺ったうえで仕様を決めていく。

(構成員)

現地立会の際は、点図を用意頂きたい。

市駅北口駅前広場の身障者乗降場の表現について、子供にも分かりやすい言葉での表現をお願いしたいのと、身障者シンボルマークを活用してもらいたい。ロータリー案内サインに点字表

示も行うとのことだがどのような内容か。点字案内板がどこにあるのかが分からないので、音声案内もお願いしたい。

(事)

現地立会の際は、点図を用意する。

(事)

身障者のシンボルマークは車椅子マークを予定している。案内サインについては、点字を使用した駅前広場案内図の設置を考えており、音による案内看板の場所を認識いただくなど今後の整備の中で検討させて頂く。

(構成員)

枚方市ではUDタクシーがどの程度導入されているのか。過去に他自治体で車椅子乗車拒否のニュースもあったが、枚方市ではそのような事はなかったのか。兵庫県ではユニバーサルツーリズム推進条例を作成しているが、枚方市ではそのような動きがあるか。

(構成員)

大阪・関西万博に合わせて、大阪タクシー協会では全体の4分の1以上の車両のUD化を目指しており、寝屋川営業所でも100台のうち15台がUD化しており、来月には50台を発注するなどUD化を図っている。UDタクシーの運転手は、丸一日の講習を受けなければならないため、車椅子の方を乗車させるための技量は保持しており、乗車拒否は無いと考えている。

(アド)

ユニバーサルツーリズム推進条例について、枚方市では取り組みの動きは無いので、今後検討頂ければと思う。

(構成員)

タクシーの障がい者割引について、タクシー会社によっては値段を間違っていることがある。

(事)

基本的には、障がい者手帳の提示で1割引き、また障害区分に応じて基本料金の助成券を発行しており、それら料金制度の中での運賃支払いが行われていると認識している。

(構成員)

介護タクシーについて、料金がまちまちでありどこが管理しているのか。

(アド)

料金については、大阪運輸支局が認可を与えているため、事務局よりご意見があった旨をお伝え頂く。

(構成員)

車椅子でのタクシー乗車について、手押し車いすの時は乗車できたが、現在は電動車椅子を使用している。電動車椅子でのタクシー乗車は可能か。

(構成員)

弊社においては、ドライバーの高齢化もあり体力的にお断りしている場合もある。付き添い人がいて車椅子を折りたたむことができれば乗車可能であるが、いずれもドライバー次第である。

(構成員)

オストメイトのあるトイレについて、施設によっては休日使えないところや新しくできた場合

でもなかなか気づかないことが多いので、市で情報掲載マップを作成してもらえないか。

(アド)

マップ作成においては、施設情報の維持・更新など難しい面もあり、自治体によっては障がい者団体が作成したものを市が発信している場合もある。

(事)

本市ではバリアフリーマップの作成はしていないが、隣接市では作成されていることも認識している。今後バリアフリー基本構想の改訂が必要になってくることもあるので、その中で新たな取り組みについても検討していく。

休 憩

3. 法改正等の情報提供

(構成員)

1. 「大阪府福祉のまちづくり条例ガイドライン」の改訂について

(事)

2. 障害者差別解消法の改正について

(事)

3. 樟葉駅前広場の取り組みについて

(構成員)

樟葉駅前広場について、芝生広場は車椅子で通行が難しいと思うので、芝生広場内に通路を設けるなど何か工夫はあるか。また、計画段階で当事者の意見を聞く機会があったのか。

(事)

整備内容について、事前にご意見を伺うことはしていない。また、芝生広場内に通路を設ける予定はないが、今回の整備は主要な歩行者導線を確保した中で計画を進めており、芝生広場内への車椅子通行は想定していない。芝生広場内でイベント等を行う際には、イベント事業者に対して、車椅子利用者などへの配慮を条件付けるなどの対応をしていく。

(アド)

公共施設として市民へ開放することから、事業者だけではなく行政側も合理的配慮の観点から何らかの検討をしていく必要があると思う。

(構成員)

芝生広場とバスロータリーの間が滑りにくいブロックになるのか。

(事)

全てではないが、上屋とベンチを設置する範囲は滑りにくい構造とする。

(構成員)

樟葉駅前には野鳥の糞害が多いので、今回整備される芝生やベンチに糞が付かないよう何か配慮をお願いしたい。

(事)

今回、民間事業者にてくずはモールと駅舎の壁面にネットを張るなどの野鳥対策を実施してい

る。整備後の対策として、エサやりを抑制する取り組みや広場の清掃など、庁内関係部署や関係事業者と取り組んでいく。

4. その他

(構成員)

「大阪府福祉のまちづくり条例ガイドライン改訂(案)」に対するパブリックコメントの内容と、東京オリンピック・パラリンピックでは基本設計段階から障害当事者団体と協議する仕組みが作られた内容について資料提供する。

事前に当事者と協議する機会が必要であり、樟葉駅前広場の件では車椅子利用者へのバリアフリー状況が後退するような説明があったことも心外である。市として当事者が参画する仕組みを考えて頂きたい。また、計画内容などの情報が一部の関係者にしか行き渡らないので、協議会の説明資料をHPで公開してもらいたい。

(アド)

大阪・関西万博でもユニバーサルデザインワークショップが設置されているので、当事者の参画は可能である。事前に当事者の意見を聞く仕組み作りは、行政だけでなく当事者の協力も必要であり、すぐに取り入れることは難しいと思うが、意見を取り入れる仕組みは重要であると考え

(事)

説明資料は会議録と合わせて公表する。

(構成員)

合理的配慮についての啓発活動に取り組んで頂きたい。

(事)

民間事業者向けの周知については、北大阪商工会議所に協力頂き実施している。枚方市障害福祉サービス事業者連絡会にもご協力頂き、サービス事業者向けへの周知も行っている。市民向けにはHPで周知を図っており、引き続き機会を捉えて色々なところでの周知・啓発に取り組んでいく。

(構成員)

列車人身事故の際、聴覚障害者は情報が聞こえず、高齢者になるとスマートフォンでの確認も出来ないことがあり、電車内では情報が分からないときがあるので、事故情報やダイヤの変更などを電子モニターで表示して頂きたい。

特急電車内の電子モニターが以前は両側付いていたが、片側のみになり、混雑時など見えないときがあるのでなぜ片側のみになったのか。聴覚障害にとって視覚情報は重要なので両側に付けて頂きたい。

無人駅改札で切符が通らず閉ざされるときがあり、その場合に聴覚障害者は駅員へ知らせることが出来ないのでどうしたらよいか。

(構成員)

人身事故の際の情報案内について、駅の改札口にはモニター表示があるが車内表示については、新しい車両は付いているが、古い車両には付いていないので大型改良の際に対応していきたい。しかしながら、電子モニターについては、防犯カメラなど車両に設置しなければならない設備

が増えてきているので片側のみとなる。

無人駅での対応について、スマートフォンをお持ちの場合は、駅員と文字で会話ができるシステムを使用しているが、お持ちでない方へは対応しきれていないので、今後バリアフリー料金を活用した取り組みを検討している。

5. 開会

(事)

閉会挨拶